

山口 敏子 議員



津波に備え、 電柱やコンビニに 海拔表示を

問

津波、冠水注意の標識整備について聞く。

24年度予算で、同報無線に海拔が表示される。

新聞に、市は防災無線の鉄柱60本に海面の高さを示し、避難所の案内看板を100カ所設けると掲載されていた。

同報無線は90本市内に立っているが、あとの30本はどんな選択になっているのか。

答 防災安全課長

30本は、22年度に整備済みである。

問

例えば神奈川県藤沢市のように、電柱やカーブミラーに(海拔表示を)付けている所もある。

いろいろ規制があるかもしれないが、カーブミラー

や交通安全標識は、信号待ちしたときに「これが海拔ゼロメートルだ」と分かる。

市は伊勢湾台風を経験し、52年経っているのに、水位表示も地盤沈下が起きていると思う。

伊勢湾台風の間はここまで水が来たと、総合社会教育センターなど、各建物に表示されている。それを、交通の重要な道路にも付けようか。

静岡県静岡市は、コンビニの入り口に海拔を表示している。

市は、そういうステッカーをつくる計画はあるか。

まず同報無線に
限定して設置

▲ 海拔表示が貼られた同報無線の支柱【近鉄弥富駅南口】



答 防災安全課長

カーブミラー等は、非常に柱が細い。(海拔表示の)掲載が可能かどうか、許可が必要と思うので、一度研究したい。

伊勢湾台風の際の最高潮位の看板は、現実にその場所、その高さまで水位

が来たものではない。あの高さは、伊勢湾台風の際の最高潮位がこの高さだということになっている。

コンビニは、静岡市等は高い所もあり、ここは10m、ここは7mと表示できるが、市の場合、ほぼマイナス1.5mという所ばかりになる。

これは交渉しなければ分からないが、その施設自体が非常に危険な感じで、

果たしてそれがコンビニで受け入れられるものかどうかということもある。

24年度は公共の同報無線に限定し、設置する。それ以後研究の中で、25年度以降どういう形をとるかを考えてい。